

Introduction

What This Book Is About (本書の概要)

本書は、TOEIC® テストで最もよく出題される英単語・熟語を効率良く覚えるための学習書です。

本書掲載の 475 例文 (音声約 65 分) を繰り返し音読し、聞くことで、約 2,000 の TOEIC テスト最頻出英単語・熟語 (文法・語法の頻出ポイントを含む) を自然な形で覚えることができます。

英語の単語や熟語を覚える方法は色々ありますが、最も良いのは、例文やフレーズで覚えることです。単語や熟語を和訳と共に「孤立」させて覚える方法は、習得すべき語いの数が増えるに従って困難になります。また、ことばのもつニュアンスや使用方法もわからないので、さしたる実用性もありません。

本書の例文はイメージしやすい内容で、単語や熟語がよく覚えられます。例文は TOEIC テストで出題される英文と同じ長さで、1 例文に平均 4 つの頻出語句 (文法・語法のポイントを含む) が出てきます。475 例文 (音声約 65 分) で約 2000 の頻出語句 (重要語句まで入れると約 3400) が学べる学習書は他に例がありません。高校英語の基礎ができている学習者なら、1 日 2～3 時間×3 ヶ月程度の学習で身に付きます。

学習方法はとてもシンプルです。まずは例文の読解を行い、TOEIC テストでのリーディング力を養います (テストでは英単語や熟語自体の意味が問われるのではなく、文法に従って読解する能力が問われる、ということをお忘れなく)。英文の構造と語句の意味、修飾関係が理解できたら、語いが記憶に定着するまで (間隔を置いて) 何十回と音読し、例文を聞いてください。全ての例文が楽に聞き取れるようになれば、TOEIC テストのリスニングもかなり楽になります。

本書は、決して奇をてらわず、正攻法で学習効率を最大限に高めた学習書です。「高速マスター」という大袈裟そうなタイトルが付いていますが、「看板に偽りなし」と思って頂けるはずです。

著者 

Key Features of This Book (本書の主な特徴)

① 475 例文 (音声 65 分) の暗記で、3400 語句が覚えられます。

本書は、例文での同一単語・同一定義の重複使用を最小限にすることで、少ない例文でたくさんの語句が覚えられるようにしてあります。例えば、下記の例文 (例文番号 067) の中には 5 つの TOEIC 頻出語句 (excellent, location, facility, venue, social function) と 1 つの頻出語法 (第 5 文型の make) が凝縮されています。

The hotel's excellent location and facilities make it an ideal venue for conferences and social functions.

本書は 1 例文平均 17 語、例文数は 475 で、全例文を吹き込んだ音声の再生時間は約 65 分 (例文間の無音部分は 1.5 秒) です。例文に含まれる TOEIC テストの頻出語句は約 2000 (重要語句まで入れると約 3400)、1 例文当たり平均 4 つの TOEIC 頻出語句が出てきます。つまり、音声にして 65 分足らずの例文で、TOEIC テストの頻出語句が 2000 も覚えられますのです。一般的な TOEIC 英単語書はだいたい 1000 語で 60 分 (例文間の無音部分は 1 秒) 程度ですので、本書は単純比較で 2 倍学習効率が良いと言えます。

② テストの出題語句を綿密に調査しているので安心して取り組みます。

本書は、TOEIC 公開テストを作成している Educational Testing Service (ETS) が制作した「TOEIC テスト新公式問題集」4 冊と過去の TOEIC 公開テストの内容を分析し、出題語句 (= 単語、熟語、会話表現)、文法・語法、並びに、出題語句の使用定義、出題回数、出題パートに至るまで詳しく調べてデータベースを作り、出題頻度の高い語句と文法・語法を用いて例文を作成しています。ですから、例文で覚えた単語、熟語、文法、語法が TOEIC テストでよく出題されます。

③ 他の英単語書にはない "隠れた" 頻出表現がたくさん身に付きます。

一般の TOEIC 対策用英単語・熟語学習書には、come with … (「…が付随する」例文 350) や have to be in (「提出しなければならない」例文 304) のような、一見簡単そうで受験者の大半が知らない頻出語句が掲載されていません。本書は表面的な出題語句の調査ではなく、緻密な分析をもとに掲載語句を選定していますので、このような 「隠れた頻出語句」が数多く掲載されており、一般の TOEIC 英単語学習書で勉強するよりも「テストで役立つ語い力」を身に付けることができます。

Key Features of This Book (本書の主な特徴)

④ 頻出語句だけでなく、頻出の文法・語法も身に付きます。

過去の TOEIC テストでは、「go + V 原形」(例文 286) や「come + V 原形」(例文 287) のような口語用法、make や help の第 5 文型の用法 (例文 048 と 441) が何度も出題されています。また、「should + 主語 + 動詞」(例文 271) のような倒置法が出題されたり、前置詞の beside (「…の隣に」例文 056) と besides (「…の他に」例文 104)、副詞の besides (「その他に」例文 358) の使い分けに関する問題も出題されています。一般に、これらの「文法・語法」は、TOEIC 対策の「文法・語法学習書」で扱われることはあっても、「英単語」や「英熟語」の学習書には載りません。しかし、本書の場合は、例文に頻出の文法・語法が(主に熟語の形で)たくさん含まれているので、文法・語法問題 (Part5) の対策としても効果的です。

⑤ 例文にストーリーがあり、単調ではないので、よく記憶に残ります。

同一単語・同一定義の重複をほとんど行わずに 2000 以上もの語句や文法・語法を例文に含めるのは極めて困難な作業ですが、本書は更に進んで、例文にストーリー性を持たせています。情景を頭に描きながら読む [聞く] ことで話の内容がよく記憶に残ります。 例文は、「最小数の例文で最大数の必須 [重要] 語句を習得する」という本書の最大の長所を損なわないように (あえてストーリーの完成度を落として) 必須 [重要] でない語句が例文に多く含まれないようにしました。また、TOEIC テストで典型的な「実務英文」ばかりで例文を構成すると、(1) Part1 (写真描写問題) の出題語が学べない、(2) 似通った話が相互に干渉し合って覚えづらくなる、(3) 無味乾燥とした文ばかりで退屈し、長続きがしない、といったデメリットが生じるため、実務英文ではない例文 (例えば、政治や事件など) も掲載しています。

⑥ 例文の「英語的な和訳」で精読と直読直解の練習ができます。

一般の英語学習書の例文には「意識 (= 自然な和訳)」だけが載っていますが、英語と日本語では語順も単語の意味合いも異なるため、意識だけで例文の構造や意味を完全に理解することはできません。学習者は仕方なく例文を丸暗記することになりますが、それでは (テストで問われる) 単語の応用力や読解力が養えません。これに対し、本書では、意識の前段階として「英語的な和訳」を載せています。「英語的な和訳」により、英語と日本語のギャップを埋めることができ、精読が可能になります。精読を積み重ねれば読解力が増します。また、英文を前から読み下して理解す

Key Features of This Book (本書の主な特徴)

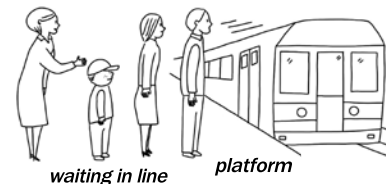
る習慣を身に付けることで、英文を読む速度も飛躍的にアップします。

⑦ 過不足のない関連情報がテストのスコア・アップにつながります。

見出し語には、過不足がない形で、同義語、反義語、派生語、TOEIC テストで出題された形などが記載されています。見出し語の意味を確認したついでに関連語にも目を通してあげば、(1) 見出し語がよく記憶に残り、(2) 品詞選択問題 (Part 5) が解きやすくなり、(3) 同義語での言い換え問題 (Part7) の有効な対策にもなります。

⑧ 例文のイラストが Part1 (写真描写問題) の対策になります。

本書には例文の内容に即した 46 個のイラストが掲載されています。イラストには右の絵のように、英語での説明があり、これが写真描写問題 (Part1) の効果的な対策になります。



⑨ 米英加豪 18 人による多様な発音が 1 例文ずつ頭出しして聞けます。

TOEIC テストではアメリカ人 (米)、イギリス人 (英)、カナダ人 (加)、オーストラリア人 (豪) の 4 人のネイティブが問題文を読みます。一般の TOEIC 学習書は 4 人以下のネイティブで吹き込みを行っていますが、本書では、多種多様な発音に慣れてもらうために 18 人のネイティブを使っています。 また、例文も 1 例文ずつ頭出しして聞ける ようにしていますので、「例文 138 だけを聞く」とか「苦手な例文だけを集めて何度も聞く」といったことが簡単にできて、リスニングの学習が捗ります。

*** 1 例文ずつの音声は巻末の袋とじの説明に従ってダウンロードしてください。**

⑩ 巻末の索引が「TOEIC テストの英単語・熟語辞典」として使えます。

一般の英単語学習書の巻末の索引は、本文の見出し語 (と関連語) の英語だけが掲載されていますが、本書は「和訳」も載せていますので、テストの直前に掲載語句の意味だけを素早く確認したり、TOEIC テストの問題集などを解く際の簡易辞典として使うことができ便利です。

How to Use This Book (本書の使い方)

1 Unit 1
Cindy と Steve は週末に遊びに来る長女の夫 Fred を迎える準備をしている。
Fred は途中で道に迷うが、Steve の道案内で無事に到着する。

2 001 Am <http://allinone-english.com/toEIC/01/001.html> 4

3 Cindy is on the early shift today, so she will get off work at 5:00 sharp and do some errands on the way home. 5

6 Cindy は早番である・今日は、だから・彼女は仕事を終える・5時ちょうどに・そして・する・お使いを・帰宅途中で。

7 Cindy は今日は早番なので、5時ちょうどに仕事を終え、頼まれた用事を済ませてから帰宅する。

8 shift 《名》勤務時間、(仕事の)シフト 10

9 ★★ 2, 3, 4, 7 ▶ 《動》work the shift シフト [交代] 勤務で働く 11

so 《接》だから、それで 12

★★★ 3, 4, 5, 6, 7

rectangular 《形》長方形の
[rektæŋgjʊlə] ▶ 《名》rectangle 長方形
☆ 3 ▶ 《名》《形》square [skwɛə] 正方形 (の) triangle 三角
形 (の)

1 Unit

Unit は 82 個あり、各 Unit はストーリー性のある複数の例文で構成されています。最初に Unit の概略を読んでから例文に入ると、例文の情景がイメージしやすく、例文の暗記が捗ります。

2 例文番号

例文は全部で 475 あり、各例文には 3 桁の番号が振られています。例文の MP3 音声、関連 URL の文字列、巻末の Dictionary の番号はこの番号でアクセス・検索します。

How to Use This Book (本書の使い方)

3 例文音声の国籍

例文を読んでいるスピーカーの国籍を表します。Am は **American**、Au は **Australian**、Br は **British**、Cn は **Canadian** です。TOEIC テストの Listening section では、これら 4 カ国 4 人 (ナレーターの American を除く) のスピーカーが (同じ比率で) 登場しますが、本書では **4 カ国合計 18 人のナレーター** を使っています。これは、単に TOEIC テスト受験だけでなく、その後の実際のコミュニケーションを見据えて、より多様なネイティブ発音に耳を慣らすためであり、登場人物の声に変化をつけることで聞き手に刺激を与え、**集中力を維持しやすくするため**です。一般に、American と Canadian の発音はほとんど違いが無く、また、Australian は American よりも British に近いので、American と British の両方に慣れておけば、どの国のネイティブの英語でも聞き取り易くなります。本書では、全体の約半分を占めるナレーション (= 対話文以外) を、First half (前半) は American が、Second half (後半) は British が担当し、American と British の発音が豊富に聞けるようにしています。

4 例文の関連 URL

この URL にアクセスすると、(1) 例文中での中点 (・) とスラッシュ (/) の箇所、(2) 例文の主語と述語動詞、語句の修飾関係、(3) 例文に含まれる文法・語法的重要ポイント、(4) 例文の聞き取りテクニック、などが確認できます。**本書は、インターネットとの連繋により、英単語・熟語・文法・語法・読解・リスニングの全てが 1 冊で学べる「オールインワン」の教材となっています。** URL の文字列は、<http://allinone-english.com/toEIC/Unit 番号 / 例文番号 .html> です。

5 例文

各例文には TOEIC テストで頻出の単語、熟語 (文法・語法を含む) が平均 4 つ含まれています。例文の長さは、TOEIC テストのリーディング・セクションの 1 文当たりの平均単語数 (Part 5 が約 17 語、Part 6 が約 16 語、Part 7 が約 18 語《TOEIC TEST 公式問題集 Vol.3 と Vol.4 で調査》) と同じ約 17 語にしてあります。また、最小限の例文で最大限の頻出 / 重要単語が習得できるよう、同一単語・同一定義の重複を可能な限り少なくしました。一つの例文にたくさんの単語や熟語を詰め込もうとすると不自然な文になりがちですが、**本書の例文は文法的に正しいだけでなく、表現的にも自然ですので、覚える価値が十分にあります。例文は、意味を考えながら [頭にイメージを描きながら]、何十回と聞き、(音声を真似て) 音読してください。無理に覚えようとしなくても自然と覚えてしまうくらい、間隔を置いて繰り返してください。**

How to Use This Book (本書の使い方)

⑥ 例文の英語的な和訳

ネイティブの思考を日本語で表現した和訳です。この和訳で理解することにより、(1) 例文を細部まで理解できる(特に前置詞の使い方がよくわかる)、(2) 英語と日本語の構造や発想の違いがわかる、(3) 速読とリスニングの訓練ができる、というメリットがあります。また、この和訳を見て英語に直す練習をすれば、語いをより強固に暗記したり、英語を話す/書く練習にもなります(「TOEIC SW テスト」の対策にもなります)。この和訳で使われる記号には次の3つがあります:

- 「・」 小さな意味の区切りを表します。この記号を用い、わかりづらくならない程度に文を細分化しています。「do some errands (お使いをする)」のような動詞句は原則として「do・some errands (する・お使いを)」と分けて訳していますが、これは、do という動詞がその意味から目的語を必要とすることが必然だと感じられるセンス(=ネイティブのセンス)を養うためです。
- 「/」 大きな区切り(文と文の区切り)を表します。この区切りの目安となるのは、so, but, and のような等位接続詞や because, if, when のような従位接続詞です。(本書では詳しい文法の解説はしません。接続詞の働きや他の文法を基本から一通り学びたい方は「ALL IN ONE Re-Start」(P481)をご利用ください)
- 「→」 「以下」という意味で、主に従位接続詞や前置詞の後に続く「文」や「句」を指します。例えば、when I was in London は「→の時に・私がいた・ロンドンに」となりますが、「→」は直後の「文」(私がいた・ロンドンに)を指しています。また、after looking over his résumé (彼の履歴書にざっと目を通した後) は「→後に・ざっと目を通した・彼の履歴書に」となりますが、「→」は直後の「句」(ざっと目を通した・彼の履歴書に)を指しています。

⑦ 例文の自然な和訳

例文を自然な日本語にした和訳、つまり意識です。⑥の英語的な和訳だけではニュアンスがつかめない場合にこの和訳で意味を確認します。この和訳はあくまで参考であり、学習上より重要なのは⑥の「英語的」な和訳です。

⑧ 例文の見出し語句

例文に含まれる、本書での習得対象となる単語、熟語、文法表現です。全部で約3400あります。475の例文を暗記すれば、この3400語句が全て暗記できます。見出し語句の中には基本的な語句も多々あると思いますが、TOEIC テストはTIME や Newsweek に出てくるような難しい語句は出題されず、ポキャブラリーの量よりも、基本的・実務的な語句や文を素早く大量に処理するスピードが要求されます。

How to Use This Book (本書の使い方)

既知の単語や熟語であっても、その意味が瞬時にひらめくか、また、聞いてわかるか、まで確認してください。特に **Part 1 の出題語句(⑨参照)は発音を聞いてイメージができる必要があります**。以下は見出し語句で使用されている記号の一覧です。

- 「…」 文以外(=名詞、形容詞、副詞など)を表します。例えば、「be filled with …」の「…」には文以外(ここでは名詞)が入ります。
- 「～」 文を表します。例えば、「Note that ～」や「unless ～」の「～」には文が入ります。但し、「both … and ～」や「get … ～」のように、「…」と共に用いられる場合は、原則として「…」と同じ品詞が入ります(上記の例なら共に名詞)。
- () 省略が可能であることを表します。例えば、「so … (that) ～」は that が省略されて「so … ～」とすることもあるという意味です。
- [] 直前の語句との置き換えを表します。例えば、「make the [one's] bed」は「make the bed」が「make one's bed」で用いることを意味します。「by a wide [narrow] margin 《副》大きな[わずかな]差で」なら、「by a wide margin」が「大きな差で」、「by a narrow margin」が「わずかな差で」です。
 - / 2通りあるという意味で、「もしくは」に当たります。例えば、「advisor / adviser」は、advisor と adviser の2通りがあるという意味です。
 - | 左側がアメリカ英語(=米語)の綴り、右側がイギリス英語(=英語)の綴りです。例えば、「theater {米} | theatre {英}」は、theater が米語、theatre が英語です。また、「inquiry | enquiry {英}」のような場合は、inquiry は米語と英語で共通して用い、enquiry は英語で用いるという意味です。
- <S> 主語(subject)を表します。
- <V> 動詞(verb)(=動詞の現在形、過去形、完了形、進行形、受身形)を表します。
- Vb 動詞の原形(base form)を表します。
- Ving 動詞のing形を表します。
- Vp 動詞の過去形(past form)を表します。(例文274と294で出てきます)
- Vp-p 動詞の過去分詞(past participle)を表します。
- one's 代名詞や名詞の所有格(=my, our, your, his, her, Cindy's等)を表します。

「pick out」「turn off」のような「他動詞+副詞」は、「pick … out」「turn … off」と、目的語「…」を他動詞と副詞の「間」に置く形で表記しています。これは、目的語が「代名詞」の場合は必ず「間」に置くという決まりを意識してもらうためです。(この説明の意味がよくわからない方は当社発行の「ALL IN ONE Re-Start」の「第3文型～他動詞+副詞」の項目をご覧ください)

⑨ 出題頻度と出題パート

星印は TOEIC テストでの出題頻度を、右側の数字は出題された Part を示します。調査の基となる資料は、TOEIC テストを作成している ETS が制作した 4 冊の「TOEIC テスト新公式問題集」ですが、Part1 等は設問数が少なく十分なデータが集められないので、著者と編集者が実際に TOEIC を受験して得たデータと、毎回のように TOEIC を受験しているという著者の TOEIC 関連書（巻末の参考図書を参照）で補っています。本書は、これらの資料を基に頻出単語・熟語・文法のデータベースを作り、その単語・熟語、頻出文法事項が（ほぼ）全て含まれるように例文を作成しています。以下は、星印が示す出題頻度です。

★★★	確率的にほぼ毎回出題されるもの	362 語句
★★	確率的に 2 回受験すれば 1 回出題されるもの	715 語句
★	確率的に 3～4 回受験すれば 1 回出題されるもの	935 語句
☆	過去のデータで 1 度だけ出題が確認できたもの	609 語句
無印	過去のデータで出題が確認できていないもの	1381 語句

星(★) 1 つ以上の語句(約 2000 語)が「TOEIC テストの頻出語句」ということになり。但し、☆や無印の単語・熟語が TOEIC テストであまり出題されない、とは言い切れません。さらにデータを集めれば、☆や無印の語句の中から★になるものが出てくることも考えられます。本書の例文には、社会人の英語学習者が覚えても役に立たない語句は一つもありません。無印の単語・熟語といっても、社会人のネイティブなら誰もが知っていることばで、大半が Macmillan English Dictionary で fairly common (かなりよく用いられる) と指定されている語句です。仮に TOEIC テストで出題されなかったとしても、実地の英語コミュニケーションでは重要な語句ですので、頻出語句と共に例文の中でしっかりと暗記することをお勧めします。

⑩ 見出し語句の定義

最初の《...》は見出し語句の品詞を表します。見出し語句の意味は星印があるものについては TOEIC テスト新公式問題集もしくは TOEIC 公開テストで出題された意味を掲載しています。無印の語句については TOEIC テストの傾向から判断した「出題されそうな意味」を載せています。複数の意味を示す場合は「お買い得品、掘り出し物、特売品」のように「、」で区切っていますが、意味の性質が完全に異なる場合は「法律の、法的な；合法的の」のように「；」で区切っています。見出し語句に付けられている品詞のラベルについては、⑪ 見出し語句の関連語」の項目で示しています。

⑪ 見出し語句の関連語

▶ の列には見出し語句の「派生語」と「関連語句」を掲載しています。派生語と関連語句は全部で 1844 あります。掲載の順番は、①同義語→②反義語→③派生語→④他の関連語句となっています。TOEIC テストでは、success (名詞), succeed (動詞), successful (形容詞), successfully (副詞) のような派生語の区別を問う設問が頻出で、また、同義語が問われることもあります。見出し語句の意味を確認する際に、派生語と関連語句にざっと目を通して何度か音読しておけば(特に覚えようとしなくてもかまいません)、語い力のアップにつながります。

【見出し語句と関連語の品詞 / 語法ラベル】

《名》=名詞	《代》=代名詞	《形》=形容詞	《副》=副詞
《動》=動詞	《助》=助動詞	《前》=前置詞	《接》=接続詞
《慣》=慣用表現*	《関副》=関係副詞	《接頭》=接頭辞	《間投》=間投詞
《同》=同義語	《反》=反義語		

* 品詞の分類がしづらい語句や会話文は全て《慣》としています。

《可算》=可算名詞	《不可算》=不可算名詞	《英》=イギリス英語
《米》=アメリカ英語	《正式》=フォーマル表現	《話》=会話表現

本書では、名詞句や名詞節、副詞句や副詞節のような単語より大きな情報単位も《名》、《副》としています。例えば、「a series of ...」「the way ~」は《名》としていますが、それは、これらが「全体」として名詞の働きをするからです。同様に、「as ~」「although ~」「now that ~」を《副》としているのは、全体として副詞の働きをするからです(as, although 自体は接続詞です)。また、定義欄では、「《動》(…の) 邪魔をする」のように()が使われている場合がありますが、これは、「…の邪魔をする」(他動詞)と「邪魔をする」(自動詞)の両方で用いられることを示しています。

⑫ 発音記号と強勢マーク

見出し語句には(特に必要がないものを除き)全て発音記号が示されています。見出し語句の一部だけに発音記号を示す場合は、その部分に下線が引かれています。また、inside ([ɪnsáɪd] [ɪnsáɪd]) のように、発音が同じで強勢の位置が 2 つあるものは [ɪnsáɪd, ɪnsáɪd] として後半の発音記号を簡略化しています。関連語の発音は見出し語句の発音記号を見ればわかるので、強勢のマーク(´)だけを示し、発音記号は注意が必要なものだけにしています。underline のように強勢が 2 つある語は、únderlíne と underlíne の 2 通りの強勢があることを意味します。

Main Characters in This Book (例文の主な登場人物)



Cindy (Cynthia) *

Smith 家の母親。
趣味はショッピング。
子供の教育に熱心で、
少し過保護。



Steve (Stephen)

Smith 家の父親。
建築家。趣味は料理、
野菜作り、山登り等と
多彩。恐妻家。



Betty (Elizabeth)

Smith 家の長女。
編み物と園芸が趣味。
高級住宅街に引っ越し、
セレブの仲間入り。



Cathy (Catherine)

Smith 家の次女。
薬剤師。旅行が趣味。
結婚後ニューヨークに
移るが、後に離婚。



Joe (Joseph)

Smith 家の長男。
漫画オタク。大学卒業
後、業務請負会社に就
職。後に化粧品会社のセ
ールスマンに転身。



Mike (Michael)

Smith 家の次男。
素直で従順。野球が趣
味だが、運動は苦手。



Ted (Teodore)

Steve の弟。英国在住。
ロンドンの一流会計事
務所を経て大手証券会
社の副社長にまで出世。



Fred (Frederick)

Betty の夫。穏和な性
格のカナダ人弁護士。
環境保護団体の法律顧
問も務める。



Andy (Andrew)

Cathy の夫。オースト
ラリア出身のマッショ
な消防士。家事に非協
力的。



Bob (Robert)

Joe の高校時代の親友。
不祥事で高校を退学。
何度か転職した後、港
湾の倉庫会社に就職。

Main Characters in This Book (例文の主な登場人物)



Hank (Henry)

祖父が創業した Evans
社の3代目社長。60代
半ばで病死。Ted の
古くからの顧客。



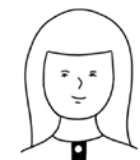
Sandy (Sandra)

Hank の内縁の妻。
大統領官邸での清掃員
の体験を基に書いた小
説がベストセラーに。



Bill (William)

Hank の息子。Hank の
急死を受け、Evans 社
の社長に就任するが、体
を壊して退任。後に金融
危機で大損をする。



Pat (Patricia)

Joe の同僚。取引先の
Mr. Lee と結婚し、東南
アジアに転居。現地で
英語の講師をする。



Mr. Lee

アジアの大手家電メー
カーの社員。オースト
ラリアの大学を卒業後、
米国勤務時代に Pat と
知り合い結婚。後に
東南アジアへ転勤。

* 人名の略称について

「Cindy (Cynthia)」は「Cindy が略称、Cynthia が本名」という意味です。英語圏で伝統的に使われている名前には決まった略称があり、日常生活では略称を使うのが一般的です。ここに出ていない略称と本名の関係を知りたい方は、ウィキペディア (<http://ja.wikipedia.org/>) で "英語人名の短縮形" と検索してください。



Nick (Nicholas)

経営コンサルタント。
Bill から Evans 社
の CEO に任命され、同社
を再建。Fred と同じ
住宅街に住む。



Mr. Sato

アジアの自動車メー
カーの技術者。英語が
苦手だが、海外転勤の
辞令を受ける。現地で
Pat の英語教室に通う。

Table of Contents (目次)

First Half	Page 1
(前半)	
Second Half	Page 209
(後半)	
Bibliography	Page 418
(参考書籍・ウェブサイト)	
Dictionary	Page 419
(TOEIC®TEST 簡易辞書)	
Recommended Materials	Page 480
(推奨教材)	
About This Book / Production Team	Page 482
(書籍情報 / 制作チーム)	